

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
がん看護学特論Ⅲ	2単位30時間(15コマ) 講義科目	博士前期1年次 前期開講	可・不可 「下記7.参照」
科目責任者	鳴井ひろみ		
担当者	鳴井ひろみ、棟方正樹、鎌滝章央、松坂方士、伊東健、真里谷靖、長谷川善枝		
<b>1. 科目のねらい・目標</b> <ねらい> がんの分子生物学、遺伝学を含む病態生理学全般について学び、最新の診断、治療について学ぶことで、高度な臨床判断とがん看護実践に必要な専門知識を修得する。 <目標> 1) がんの要因・発生・病態生理について、分子生物学、免疫学、遺伝学、疫学の観点から理解し、知識を深めることができる。 2) がん組織の病理学的・臨床的特徴と症状との関連および診断と治療について理解し、高度な看護実践を展開する上での基礎的知識を修得する。			
<b>2. 授業計画・内容</b> 1回 : がん医療の動向 (鳴井) 1) がん医療の動向とがん看護専門看護師の役割 2回～5回 : がんの分子生物学 (鎌滝) 1) がんの形態・分類 2) がんの発生・原因 3) がん遺伝子とがん抑制遺伝子 4) 発がんの増殖、がんの進展と転移 6回～7回 : がんと免疫 (伊東) 1) 腫瘍に対する免疫応答 2) がんによる免疫抑制 8回～9回 : 腫瘍遺伝学 (長谷川) 1) 腫瘍遺伝学 2) 遺伝子診断 10回～11回 : がんの臨床医学 (棟方) 1) 診断(病理診断、画像診断)と治療 2) 集学的治療 12回～13回 : がんと疫学 (松坂) 1) がんの疫学 2) 発生要因とがん予防医療の動向と課題 14回 : 放射線被曝と健康への影響 (真里谷) 15回 : まとめ (鳴井)			
<b>3. 教科書、参考書</b>			
(教科書) 新版 放射線生物学 窪田宜夫著 医療科学社 2015年 (ISBN 978-4860034658) 他、講義の中で適宜紹介する。			
<b>4. 成績評価方法</b> 講義およびゼミへの取り組み状況 70%、レポート 30%で総合的に評価する。			

**5. 受講要件**

がん看護専門看護師コースの学生は必修

**6. 社会人学生に対する配慮**

相談があれば個別に対応する。

**7. その他**

- ・講義内容について事前に学習して臨むこと。
- ・状況に応じて Webex meeting または Zoom を用いた遠隔講義を実施する。